

令和6年度 第2回 中央区区政会議 委員から寄せられたご意見・ご質問及び区の回答等

1. 委員から寄せられたご意見

内容	No.	意見要旨
運営方針・将来ビジョンに関するご意見	1	大阪市中央区将来ビジョン 2023～2027 に、高齢者や障がい者等の見守り活動について、7割近くの方が知らないと書かれており、見守り活動があまり認識されていないことに驚愕しました。多くの区民の方にとってはあまり身近に感じられないと思うので、広報や情報提供の方法を工夫する必要があると思います。 その中で、中央区将来ビジョン 2023～2027 の中間見直し（案）は写真を用いて資料がまとめられており、中央区民にも伝わりやすいものになっていると思いました。
にぎわいに関するご意見	2	1970 年の万博と比較して、今回の万博は対応に柔軟性がないと思いました。予約などについて、もう少し広報してもらいたいです。
福祉に関するご意見	3	認知症の方に対する声かけ訓練について、中央区は平日に働いている人が多いので、休日にも実施したら良いと思います。
教育に関するご意見	4	中央区全体では児童が増えているが、南中学校のように生徒数が減少している学校もあり、学校間で格差を感じます。学校選択の自由を充実させた結果、このような格差が生まれたと思います。
	5	公立学校以外にも私立学校やその他教育関係の組織が融通し合って地域全体の教育環境の質を高める工夫が必要だと思います。
	6	生徒数が増え、校舎の建て増しをした結果、運動場が狭くなり、体づくりや健康づくりができる環境を作れていないことがとても気がかりです。今まで以上に、屋上に運動できるスペースを設けたり、公園などを活用していく工夫が必要だと思います。
	7	児童の体力や運動能力が下がっていると聞き、校舎が狭くなっていることが原因だと思いますので、ぜひ、教育環境を整備してもらいたいです。
	8	私が所属している団体のイベントは、以前は、小学校の先生の協力を得て実施していたのですが、働き方改革の影響で、小学校の協力を得られなくなっています。その中で、地域や行政の協力を得て実施しているので、地域とのつながりが今後もっと重要になると思います。
区政会議に関するご意見	9	区政会議の参加を通して、中央区役所が様々な問題の解決に取り組んでいるのだと知ることができました。中央区役所が区政会議をより良いものにしようと、毎回様々な工夫をされていて感服しました。
	10	区政会議では自分と同じ分野の方々と話すことが多かったが、ラウンドテーブルでは違う分野の方々と話す機会があり、非常に新鮮で、楽しむことができました。
その他ご意見	11	大阪府は困ったら地域でなんとかする地域だと思っており、区政会議を通してその地域の者になることができ、本当に嬉しいです。今度は区外から来た人を中央区に根付かせる世話役になりたいと思います。
	12	地域の団体で、高齢化に伴う会員の減少という課題があり、若い世代の方がもっと参画していただけるような取組を中央区役所としても考えていただきたいです。

2.委員から寄せられたご質問及び区の回答

内容	No.	質問要旨	区の考え方、対応方針、コメント等
運営方針に関する質問	1	令和7年度運営方針（案）に、まちの環境美化活動に参加したボランティアの数が延べ1,150人、防災訓練や出前講座、防災講演会の参加者数が延べ2,000人、地域で開催する開催するいきいき百歳体操等の登録者数が500人と令和6年度実績見込みが記載されているが、中央区の人口と比較すると少ないのではないですか。	環境美化活動については、地域の事業所、商店会、ボランティアの皆様と協力して取り組んでいるところであり、アピールをしながら継続して取り組んでまいります。 防災訓練等の参加人数の少なさはつながりの希薄化も関係している問題だと考えております。つながりづくりに取り組むことで、参加人数を現状以上に増加するように、継続して取り組んでまいります。 いきいき百歳体操については、大阪市において、高齢者の人口を基に参加者数の目標値の目安が示されております。大阪市内では中央区は高齢者がどちらかと言えば少ない区でありますので、登録者が500人ということは目標値に沿っている状態となっております。
	2	中央区の令和7年度歳出予算が少ないと思います。中央区の人口と税収を考慮して、予算を見合わせていただけませんか。	可能な限り予算の確保に努めてまいります。
防犯・環境浄化に関する質問	3	令和7年度中央区役所歳出予算（案）について、令和6年度と予算額については比較していますが、実績については比較しているのですか。	実績としては概ね予算どおりとなっております。
	4	先日、大阪市内で路上喫煙が禁止になりましたが、未だに路上で喫煙している人はいます。たばこの吸い殻が落ちていたら、そういった人は路上喫煙を止めないと思うので、環境美化活動にさらに取り組む必要があるのではないのでしょうか。	国内外からの来販者が多くなる中、路上喫煙対策は重要だと考えております。大阪市全体として取り組むべき事業ですので、関係部局と連携しながら取り組みを進めてまいります。
福祉に関する質問	5	地域で防犯カメラを設置していますが、防犯カメラにも寿命があり、維持管理費を全て地域が負担しています。もう少し手厚く支援していただけないでしょうか。	防犯カメラについて、平成21年度から数年間、市・区の助成で設置してきた経過がございます。その上で現在、地域で維持管理していただいているという状況です。現状の財政面が非常に厳しい状況でありますので、対応は難しいですし、中央区だけの問題ではないと思いますので、市当局に要望してまいります。
	6	中央区の「福祉」は「ふだんのくらしをしあわせに」であるという説明を聞き、このキャッチフレーズをとて気に入りしました。中央区役所としてこのキャッチフレーズをさらに広報していただけないでしょうか。	「ふだんのくらしをしあわせに」については、中央区役所としても、誰もが地域福祉を意識して、つながり作りをしてほしいという思いがあつてのキャッチフレーズになります。次期の地域福祉ビジョンにも目立つように組み込んでまいります。
教育に関する質問	7	高齢者の見守りについて、私の地域では地域福祉コーディネーターを見かけず、見守りができていないように思えます。どのように見守りをしているのか教えてください。	現在は、地域福祉コーディネーターを各地域社会福祉協議会単位で配置しておりまして、その中で見守りの対象者である要援護者の中から、合意を得られた方について見守りをしていく運用をしております。地域によって同意を得られている人数も違い、見守り対象者も違うので、各地域で様々な見守り方をしています。地域福祉コーディネーターの業務が平準化できるように検討し、地域による違いを無くしていきたいと考えております。
	8	外国から来た生徒に日本語を教えていることによって人気がある学校もあるので、積極的に日本の生徒に英語を教えることで学校の人気を創出することができるのではないのでしょうか。	一朝一夕で学校のブランドを作ることは難しいので、何が中央区の学校の強みとしてあるのかを考え、地域の方々から情報を受けながら検討を進めてまいります。
	9	中央区で児童数が多くなり、空き教室が少なくなっているため、生涯学習ルームの活動が少なくなっています。この点について、改革していただきたいです。	中央区では、普通教室が足りていないという状況であり、その中でどのようにしたら生涯学習ルームがさらに活動できるのかについて学校と相談しまして、フィードバックしてまいります。
	10	芸術や体育といった科目を教えることについては専門家に任せると、教員の働き方改革を進めていただきたいです。	子どもたちを取り巻く課題は複合化しており、学校だけでは解決できない課題が増え、教員の負担も重くなっています。その点につきまして情報発信をさせていただき、皆様からご協力いただきたいと考えております。
	11	教育環境の整備について、私立学校に通う子どもが増えているという視点も必要ではないのでしょうか。	私立学校に進学する生徒数の想定を見越して、今後の推移を見守ってまいります。
	12	児童数が減っている南小学校の近くに、新しい小学校を設置する必要はあるのでしょうか。南小学校の児童数がさらに減ってしまうと思います。	開平小学校のエリアには公園すらなく、地価が極めて高価であると予想され、土地がない上に、購入が難しい状況です。平成30年の大阪市内中心部児童急増対策プロジェクトチーム会議において議論した上で、旧南高校のグラウンドを活用することになった経過がございます。
	13	旧南高校のグラウンドを売却して、新たな土地を買い取ったことができないか検討していただけないのでしょうか。	利用可能な新しい土地ができたときには、その情報をいただき検討してまいります。